

価値創造プロセス

企業理念 遺伝子医療などの革新的なバイオ技術の開発を通じて、人々の健康に貢献します



事業活動に影響を与える外部要因

気候変動の加速と脱炭素化に向けた動き

人的資本やDXへの投資重視の姿勢

サプライチェーンリスクの高まり

バイオ産業市場の拡大と競争激化

サステナブル経営に関する社会的要求の増大



当社にとってのリスク・機会



財務資本

自己資本比率：86.9%
ROE：15.4%
格付け：A+ (JCR)
JCR: 日本格付研究所

製造資本

- 安定供給を実現するグローバルな製造体制
- 多様なモダリティの製造に対応する遺伝子・細胞プロセッシングセンター

製造拠点：5拠点
(日本・米国・中国・欧州・インド)
設備投資額：65億円 ※政府補助金含む

知的資本

- グローバル研究開発体制 3拠点(日本・米国・中国)
- 独自性の高い創薬基盤技術

研究開発費：85億円

人的資本

- 将来の成長を担う人材の採用・育成
- 性別や国籍によらない多様な人材の活躍推進
- 豊富な技術研修プログラム

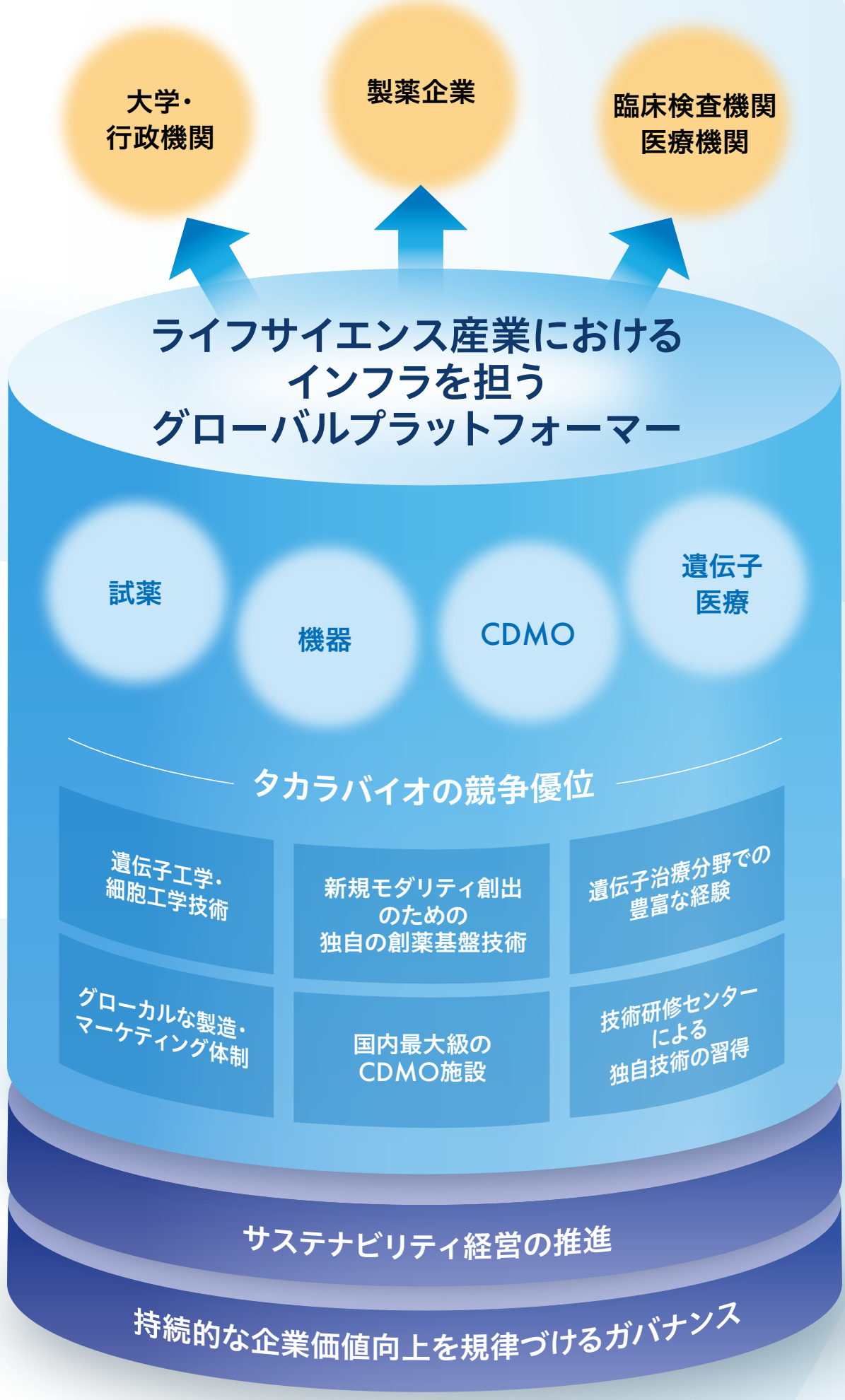
連結従業員数：1,793人
海外従業員比率：57.1%

社会・関係資本

- イノベーション創出に向けた産官学連携
- ステークホルダーとの信頼関係
- 信頼を確保するコンプライアンス

自然資本

- 主なエネルギー消費量
- 電気：13,469千kWh
- 都市ガス：3,202千m³
- 水使用量：105千m³



ライフサイエンス研究・バイオ産業を幅広くサポートする 試薬、機器、CDMOサービス

- 連結売上高(2022年度)
- 試薬：659億円
- 機器：13億円
- 受託：82億円
- 遺伝子医療：26億円

環境に配慮した事業活動 (2022年度 主要事業所実績合計)

- CO₂排出量：16千tCO₂*
- 廃棄物排出量：400t

*Scope 1、Scope 2

多様な人材の活躍 (2022年度単体実績)

- 女性活躍推進 女性管理職比率 23.0%
- キャリア人材採用の推進 正規雇用労働者の中途採用比率 47.7%
- シニア人材の活躍推進 70歳までの雇用延長制度を導入
- 障がい者雇用の推進 法定雇用率(2.3%)を維持

社会

健康で豊かな暮らしへの貢献

顧客

ライフサイエンス研究・バイオ産業の発展

株主・投資家

企業価値の向上
株主還元の向上

従業員

会社と社員の持続的な相互成長

